

新入学のシーズンを迎え、新一年生も集団で登校します。昨年、集団下校中の児童らの列にトラックが突っ込み、5人が死傷する痛ましい交通事故が発生しました。

通学路の中

には、車両の交通量が多

く、歩車道の区別がない危険な場所が数多くあると言われています。子供たちが通学路で交通事故に遭わないために通行の安全を確保する必要があります。通学路には歩車道を区

通学路の安全を確保しよう

別するガードレールやパイプを設置する、車道にはハンブや狭さくといった物理的デバイスを設けるなど、車両の運転者には通学路と明確に認識できる表示が有効です。地域住民が

危険な通学路を改善しようと声を上げることが

大切です。悲惨な交通死傷事故が二度と起きないように、社会全体で事故防止に努め、児童の安全な登下校を確保しましょう。



交通安全二口メモ